

一般質問通告書一覧（6月30日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 （30番） 和田 恵治 （なら元気クラブ）	1 奈良県を相撲の発祥の地としてアピールし、地域振興に活用することについて 県では、スポーツによる地域振興として大相撲を活用した奈良県のPRに取り組むようだが、県内各地域で相撲の伝承活動が進んでいることを踏まえ、今後、どのように、奈良県が日本の国技相撲の発祥の地であり、大相撲の発展を願っていることをアピールし、奈良県の地域振興に活かしていこうと考えているのか。 2 なら食と農の魅力創造国際大学校について 宿泊施設を備えたレストランいわゆるオーベルジュは、グレードの確保や経営的な観点を考慮して運営されなければならないと思うが、どのような運営を考えているのか。また、新しいなら食と農の魅力創造国際大学校は、どのような教育方針で取り組んでいくのか。食と農を学んだ学生たちが卒業後、県内で活躍することを大いに期待しているが、この大学校の地域づくりへの貢献という面と併せて、伺いたい。 3 認知症対策について 認知症患者とその家族をとりまく現状について、どのように認識しているのか。また、オレンジプランを着実に推進するため、次期奈良県介護保険事業支援計画において、県では今後どのように認知症対策に取り組んでいくのか。	知 事 知 事 知 事

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
(30番) 和田 恵治 (なら元気クラブ)	4 医療の質の向上と健康長寿を目指したマイ健康カードの導入について 本県が取り組もうとするマイ健康カードについて、現時点でどのような機能を想定しているのか。また、マイ健康カードの導入によってどのような効果があると思込んでいるのか。 5 奈良県初の世界記憶遺産の登録申請について	医療政策部長 【 要 望 】
 (6番) 尾崎 充典 (民主党)	1 ER型救急と研修医制度について (1) 県民の命を守るためには、軽症重症にかかわらず総じて見立てる技術を持つ「総合診療医」を多く育てることが重要かつ急務である。そのためには、研修医一人あたり年間1,000例以上の経験を積むことができるER型救急の現場の提供が必要と考えるがどうか。 (2) 開院が2017年春に予定されている新奈良県総合医療センターに、今活躍している救命型救急医を温存したうえで、新たにER型救急医の配置の検討をすべきと考えるがどうか。 (3) 良い医師を育て、引き続き奈良で活躍してもらうためには、県内統一の研修医ごとのニーズにあった、いくつかの研修プログラムを策定すべきと考えるがどうか。 2 がん患者に対する心のケアについて (1) 学校現場でのがん教育の推進と心のケアの充実について (2) 現在実施しているがん患者の自殺予防対策はどのようなことが行われ、今後どのようにするのか伺いたい。	知 事 知 事 医療政策部長 【 要 望 】 医療政策部長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (20番) 上田 悟 (自由民主党)	1 奈良県経済の活性化に向けた取組について 本県経済の活性化に大きな効果をもたらすと考えられる、産業のリーディング分野、チャレンジ分野に焦点をあてた産業政策について、現在の取組状況を伺いたい。	知 事
	2 「まほろば健康パーク」について 今後「まほろば健康パーク」をどのように活用していこうとされているのか。	知 事
	3 観光ボランティアガイドへの支援について おもてなしの心あふれる案内で、本県の観光振興に大いに貢献している観光ボランティアガイドの方々に対し、県では、どのように支援していかれるのか。	観 光 局 長
	4 小学校外国語活動について 小学校において学習指導要領が全面実施となって四年目になるが、県内小学校の外国語活動はどのように展開されているのか。また、外国語活動担当教員の指導力をどのように育成されているのか。	教 育 長